

職務経歴書

2024年2月25日現在

株式会社ゆめみ 北谷勇樹

職務要約

株式会社ゆめみに入社し、データエンジニアとして要件定義から仕様策定、設計実装、技術調査までを幅広く担当しています。また、株式会社クイックネットワークでは、バックエンドエンジニアとしてインフラアーキテクチャを更新し、デプロイリードタイムの短縮に貢献しました。

株式会社ゆめみ 経歴概要

期間

- 2023/04 ~ 現在

雇用形態

- 正社員

技術スタック

- 言語
 - Python, SQL, PHP, Go
- フレームワーク等
 - dbt, Flask, Laravel
- RDB
 - MySQL, PostgreSQL
- クラウド
 - GCP
- その他
 - gRPC
 - Terraform
 - Docker, docker compose
 - SaaS: Datadog, dbt Cloud, Fivetran, Hightouch

業務内容

- 要件定義
- 仕様策定
- 設計
- 実装
- 技術検証・技術選定
- インシデント対応
- 採用

プロジェクト1: チケット管理システムの分析ダッシュボード構築

期間

- 2023/07～現在

チーム構成

- PM: 1名
- チームリーダー: 1名
- **データエンジニア(自己): 1名**
 - 元々在籍していた1名からの引き継ぎ
- データアナリスト: 1名
- データサイエンティスト: 1名

取り組み

- 技術負債の返済に向けた計画立案～実装までを一貫して担当しました
 - GCPの新サービスである datastream for BigQuery の技術調査・検証～本番リリースまでを実施しました。(動作検証を[記事として投稿](#)しました)
 - データエンジニアの人数が不足していることから、マネージドサービスによりデータパイプラインの運用コストを低く抑えたい
 - ストリーミングにより、可視化までのリードタイムを削減できる
 - データ転送量が多くなく、案件に導入しても金銭的成本が大きい
 - インフラ構成が GCP で完結する
 - モニタリングのコストが低い
 - 監視の設計～実装を行いました
 - ダッシュボード利用者からの問い合わせによる不具合発覚が多く、死活監視による事前検知が必要であったため
 - データカタログを導入し、ダッシュボード作成者およびデータエンジニアに向け仕様を整理しました
 - ドキュメントツールによる管理では、実装との乖離が発生していたため
 - dbt-osmosis の活用により管理コストを削減できるため
 - ディメンショナルモデリングによるデータモデリングを行いました
 - 再利用可能なコンポーネントが存在せず、保守運用コストが高くなっていたため
 - チーム内でデータモデリングの概念が存在せず、認識ズレが発生しやすかったため
- データ基盤に関する要件定義・仕様策定を自発的に担当しました
 - 要件定義・仕様策定がダッシュボードの観点のみで行われることが多く、後工程でデータ基盤の負担が高くなっていたため
 - バックエンドとの連携が密でなく、新機能追加で生じるスキーマ変更・仕様変更による不具合が生じていたため
- タスク管理・リソース管理・見積もりプロセスを改善するため、自発的な提案や巻き取りを行いました
 - タスク管理・見積もりが遅れ、次月の工数が十分に確保できない状態での開発が常態化していたため
 - また、工数が確保できても、自身を含めた実装メンバーのリソースが不足しており、負担が高くなっていたため

結果

- 人数の少ないチームにマネージドサービスを導入したことで、保守運用コストを大きく削減しました
- データ基盤側の要件定義を巻き取ることで、仕様ズレの発生が減少しました
- タスク管理・リソース管理・見積もりプロセスの提案により、定例会議の時間を40%削減しました
- 総合して、データエンジニアとデータアナリスト・データサイエンティストの役割分担を明確化しました

プロジェクト2: 社内向け経営情報ダッシュボード・データ基盤構築

期間

- 2023/06 ~ 現在

チーム構成

- 経営管理部メンバー: 1名
- 経理メンバー: 1名
- データエンジニア: 2名

取り組み

- 売上等各種社内指標を可視化し、保守運用および機能開発を行っています
 - 一部指標は経営会議で使用されています
- CI/CD パイプラインを作成し、DevOpsの一部を自動化しました
 - コードフォーマットが統一されておらず、可読性が低いため
 - SaaS 製品を使用したパイプラインを統合するため、オーケストレーションツールの導入を今後実施予定
- システム構成の洗い出し、およびシステムリプレースのロードマップを作成しました
 - システムアーキテクチャが引き継ぎ等により不明瞭になっていたため
 - 実際には使用されていないシステムを洗い出し、コストを最適化するため
- データ利活用のためのロードマップ・タスク作成を行っています
 - 社内データ利活用を推進するため
- データエンジニアへの社内コンバート、採用活動を行っています
 - 社内でのデータエンジニア不足のため

結果

- 経営会議の指標作成を担当する経営管理部の作業効率化に貢献しました
- CI/CDパイプラインの構築により、保守運用コストが低下しました
- 社内募集によって、1名がプロジェクトに参加しました

プロジェクト3: web3コミュニティサービスのバックエンド開発

期間

- 2023/11 ~ 2024/01

取り組み

- 1つのマイクロサービスに対して、翻訳機能の基礎設計および実装を行いました
 - 翻訳のため API 利用を動的に行う部分では、パフォーマンス向上のためインメモリデータベースを利用しました
 - 利用経験のない Go, gRPC に対してキャッチアップを行い、他プロジェクトと兼務しながら引き継ぎまで行いました

株式会社クイックネットワーク 経歴概要

期間

- 2021/08 ~ 現在

雇用形態

- 学生アルバイト
- 2023/04 より業務委託

技術スタック

- 言語
 - PHP, SQL, TypeScript
- フレームワーク等
 - Laravel, React.js, Next.js
- RDB
 - MySQL
- クラウド
 - AWS
- その他
 - Terraform
 - Docker, docker compose
 - SaaS: Datadog

業務内容

- 要件定義
- 仕様策定
- 設計
- 実装
- 技術検証・技術選定

プロジェクト1: クラウドインフラのリプレイス

期間

- 2022/04 ~ 2022/09

取り組み

前提として、自分自身がアルバイトであり柔軟な立ち回りが可能だったことから、主に重要だが非喫緊であるタスクに取り組みました。

- 開発環境のコンテナ環境改善
 - 開発環境が Vagrant であり、環境構築が不安定であったため
- 本番環境のインスタンスを EC2 → ECS へリプレイス・CI/CD パイプラインの導入
 - インスタンス管理の運用コストを削減するため
 - リリースが EC2 インスタンス上の手作業によるものであり、リリースに1時間程度要していたため
- Laravel のバージョンアップ(5.5→7.x), PHP のバージョンアップ(7.0 → 7.4)

- バージョンアップがされておらず、セキュリティ脆弱性を含んでいたため
 - また、新機能を使用できず、生産性が低くなっていたため
- Next.js, tailwind css, storybook の導入
 - 外部向けのフロントエンドがMPA(Laravel blade + jQuery)であり、パフォーマンスの低下とユーザー体験が問題となっていたため
- Terraform の導入
 - IaC によるインフラ管理の属人性解消

結果

- CI/CD パイプラインの導入によって、デプロイのリードタイムを 10分程度に短縮しました。
- Laravel, PHP の継続的なバージョンアップによって、新機能を利用可能になりました。
- 社内総会において、学生アルバイトで唯一表彰していただきました。